

市民の皆さまの声を聴く会報告書

令和7年5月18日（日）、市民の皆さまの声を聴く会を開催しました。
当日は、14人の市民にご参加いただき、多くの貴重なご意見をいただきました。皆さまのご意見は委員会として真摯に受け止め、今後の活動に活かしていきます。ご参加いただきました皆さまありがとうございました。

以下、いただいた主なご意見を掲載いたします。

【ご意見等】

- ・手抜き工事を隠していたり、中央制御室で火災を繰り返してる東海第二原発は、運転をする資格に欠けるということを那珂市の議会でも見極めてほしい。

- ・原発は危険。事故が起きたらとめることなんかできるはずがない。地震にも弱い、そういうものを動かして、それで、事故が起きたときに、皆さんは刑務所に行きますか。そういう覚悟でやってるんですか。もう原発は絶対にとめなきゃ駄目です。

- ・個々の議員たちがこの原発問題に対して、どうお考えなのかということを知りたい。

- ・原発を支援していく国のエネルギー計画そのものっていうのは、改めて見直すべきだというふうに考えている。

- ・安全基準規制委員会の安全基準を達成するという事は、並大抵なことではない。CO2を削減するという意味からも原子力の再稼働には賛成。

- ・東海に原子の火がともった時はウエルカムでした。しかしその後の事故等を見て、世界の状況を見て、こういう危険なものがすぐ近くにあるということは、認められない。もっと言えば、子孫に危ないものを残したくない、私どもの世代で終わりにしたい。

- ・5市1村、周辺の自治体、もっと広くですけども、原発を認めるか否かについてはやはり住民投票で決めるべき。

- ・住民投票、市民アンケートに関しては再三、委員会にもメールとかで送っている、ぜひやってください。

- ・避難計画、バスの問題もそうですけども、そのほかいろいろ矛盾だらけであって、合理的な、安全な避難計画なんかできない。

・原発へ送るための火力発電所、これはCO₂を出しますからね、私はやめるべきだと思うんです。自然エネルギーに任せるべきだと思う。

・原発は要らない、どうしても足りないっていうのなら、自然エネルギーを大いに活用して、原発事故を想定したり、使用済核燃料の処理に困るような事態を一刻も早く抜け出す、こういうふうにしてほしい。

・原発の危険性っていうのはよく承知してるので、それを動かすっていうのは核のごみを含めて反対。

・原爆の問題、それ全部が原爆病になるわけではない、個人差はあります。ありますけどそういう少なくするっていうのがやっぱり原発に関わるこの委員会の仕事だろうと思います。意見だけ聞いちゃ駄目。これからの子孫のためにどうするかってやるのが議会の仕事だと思います。

・東海第二で2月4日に中央制御室で火災が起きた。最近10件以上の火災が起きている。それから隠蔽体質、東海第二は何としても止めたい。

・住民投票と市民アンケートの実施を求めます。

・原発を次から次へと再稼働させる必要はない。

・原発の事故は、余りにも規模が大きくて、そして終わりが無い。今も全然終わってないです。被ばくしたことに対する健康不安は多分一生どこかに残る。再稼働はしないでほしい。

・那珂市議会としては、ぜひ住民の安全と暮らしを守る立場で動いてほしい。

・市民アンケートとか住民の声を聴くとか、そういうのもやって頂いて、その代表として、街を守る、市民を守るほうにぜひ動いていただきたい。

・太陽光発電がフィルム化されます。フィルム化されたら家庭につける場合には補助してほしい。

・原発が動いてるところ、もちろん先行でとめるって決めたところもあるかもしれませんが、そういったところの知見とか、経験値など、これも議会の皆様が多分中心になって、勉強していくのかと思うんですけど、そういったところも含めて、判断をして頂けたらと思いました。

- ・ 原発は戦争の時標的にもされる。
- ・ 原発即時全廃、後世に残すな核のごみ。
- ・ 太陽光とか風力とか水力とか自然エネルギー、そちらのほうで電力が間に合っているの、今更東海第二は発電しなくてもいい。
- ・ 人間がつくったものを人間が壊せないような施設っていうのは、あんまり使わないほうがいい。
- ・ どんなことだってメリットとデメリットはあるんですけども、特に原発の場合はデメリットが余りにも大きい。
- ・ 那珂市は非常に住みやすい温暖な地域でありますので、それが帰ってこれないような街にすべきではない。
- ・ 原子力規制委員会の新しい安全指針に基づいた設計で、設計し直している発電所、事故が起きないように設計されてるという前提で、私は賛成です。
- ・ 世界戦争になった場合ロシアは、日本と韓国の 160 か所の軍事施設及び民間施設を攻撃する。そん中で、軍事施設については明確ではないんですけども、3 か所、一つは奥尻島です。もう一つは、関門海峡ですね、もう一つが東海村です。この三つがロシアの攻撃目標 160 か所のうちの一つということになってる、非常に大変なこと。
(2025 年 1 月の NHK news 報道によると思われる。イギリスのフィナンシャル・タイムズが、2014 年までに作られたロシア軍の機密文書を確認したとして、31 日に報じた内容からの発言と思われます。：那珂市議会原子力安全対策常任委員会調べ)
- ・ 東京都は、太陽光発電を個人住宅に対して太陽光発電設置すると補助を出す、200 万円補助を出すと言ってます。那珂市ではできないのか。例えば小学校の屋根とかも。
(東京都の補助事業では、住宅の条件により変わる 30 万円から 240 万円までの補助制度があります。太陽光発電だけの設置では、諸条件で補助金額が変わるようです。1 例ですが、3.6KW 以下の非オール電化住宅では、12 万円/kW(ただし上限 36 万円)とのことです。：那珂市議会原子力安全対策常任委員会調べ)
- ・ 東海第二をどうするのか、那珂市の議員と議会として、あるいは市長も含めてです。1 番いいのは、住民投票しかない。
- ・ 議会発案の住民投票を求めます。

【回答が必要な意見】

・集めた意見が委員会から全員協議会や本議会に反映されていないという質問をしましたが、出された意見の概略は報告されているとのことでした。

これはもう何の記録もない中で、たくさんの方が意見を上げているのに、何をもってその報告内容と行政の対応について、確かめればいいのかという質問です。これ今日は回答いただけないということで、後日でもいいので回答頂ければと思います。

（回答）今後、今回の市民の皆さまの意見を聴く会などでいただいた意見につきましてはHPに掲載いたします。また対応等につきましては委員会の傍聴や会議録で確認可能になります。

・原子力安全対策費用として1機当たり7,000億円かかるという話を聞いたことがあります。これは政府のほうの考え方なのかと思いますけども、この辺どうなのか分かる範囲で教えていただきたい。

（回答）1 原子炉の安全対策費用が7000億円については、どこの話が承知していません。なお、5月に行われた原子力事業所の説明会で、日本原電は東海第2の追加安全対策費を2350億円と述べていました。安全対策工事の費用については、各原発に様々な資産や推定がある現状です。